



## カモメとカラスは、どっちが強い？

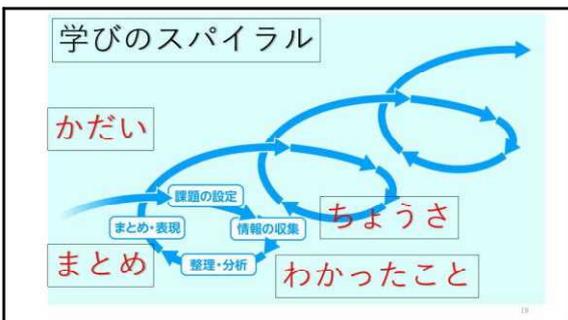
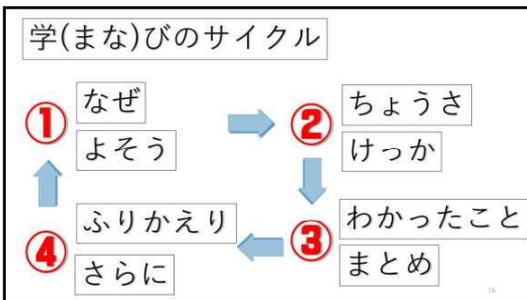


岩内西小学校長 古館 昭仁

明日からいよいよ12月。師走を迎えます。7日は二十四節気の「大雪」です。本格的な冬、雪の季節の到来です。私はこの季節、夜のうちにしんと雪が降り積もり、まるで生デコレーションケーキのように真っ白になった景色の中で、冷たく澄んだ空気を思いっきり吸い込むことが大好きです。

さて、先週の木曜日にオンラインで全校朝会を行いました。校長が作成した資料を見ながら話を聞いてもらいました。内容は「疑問に思ったことをどうやって解決するか」です。野東川に鮭が遡上し、その鮭をねらって、カモメが群がっています。カラスは周りでじっと眺めているだけです。この様子から「もしかしたらカモメはカラスより強いのかな？」と思い、調べてみることにしたという話です。

詳しくはお子さんに聞いてほしいのですが、普段疑問に思ったことをどうやって調べますか？図書館や博物館に行って直接調べたり、その道に詳しい学芸員さん等に聞いたりとできますが、今は便利なインターネットがあります。知りたい情報をパソコンやスマートフォンを活用してすぐに知ることができます。私もインターネットを利用して調べました。調べたのは「大きさ」です。体の「大きさ」は10cmほどしか違わないのですが、翼を広げた「大きさ」がカモメの方がカラスよりも1.4倍も大きいことが分かりました。1.4倍というと150cmの小学生からすると210cmの大男（大谷翔平選手が196cm）となります。カラスは自分よりも大きいカモメが怖いそうです。ですから、カラスを追い払うには、両手を高く上げたり、持っている傘を広げたりするとよいそうです。



学習中、子供は「ぎもん」「よそう」「しらべる」「まとめる(わかったこと)」「ふりかえる(さらなるぎもんへ)」という「学びのサイクル」(課題解決的な学習<①>)を使って、学んだり、探究したりしています。これを繰り返す(「学びのスパイラル」といいます)ことで、思考力や表現力<②>を徐々に伸ばしていき、課題を自分の力で解決する力を身に付けます。これからも日常の授業でその学びを大切に、「学んで楽しい」「わかってうれしい」

を実感させ、子供たちが「学んでにっこり・わかってにっこり」になるよう皆で取り組んでいきます。

【学校教育目標】

伸びる喜びを見つけよう

【今年度のテーマ】

にっこり西校～真心を込めて～

学ぶよろこび (知)

学んでにっこり  
わかってにっこり

【具体的な取組】

- ①課題解決的な学習
- ②思考力表現力を育む場面設定

上記文章中の<①><②>と対応しています



西小HPへ検索  
(岩内西小学校)